

戸開走行保護装置検査記録表 (三菱日立ホームエレベーター株式会社製エレベーター)

物件情報等:

昇降機の識別 (番号: )

- ホームエレ
- 小規模建物用小型エレ
- 小規模共同住宅用エレ

製品の大員認定番号

検査日 : 年 月 日  
 検査者氏名 :

検査事項	検査方法と判定基準	検査結果																
1. 巻上機部分 (減速機・電動機)	(1)制動面への油の付着がないことを確認する。 (2)油排出用穴に油漏れの痕跡がないことを確認する。	良・否 良・否																
2. かごの戸スイッチ	【両開き戸の場合(ホームエレ/小規模建物用小型エレ)】 (1)戸と戸の隙間が18mm以上かつ22mm以下の範囲でスイッチが作動することを確認する。	( mm) 良・否																
	【片開き戸の場合(ホームエレ/小規模共同住宅用エレ)】 (1)戸と戸当柱の隙間が全閉位置から戸が開く側に9±1mmの位置でスイッチが作動することを確認する。	( mm) 良・否																
3. エプロン	(1)変形がない。取付状態に異常がないことを確認する。 (2)垂直部下端からかご床面までの垂直寸法が324mm以上であることを確認する。	良・否 ( mm) 良・否																
4. ブレーキ部分	【ホームエレ/小規模建物用小型エレの場合】 (1)トルク調整ボルトのマーキングにずれがないことを確認する。 (ブレーキ型式がRNB2G-38のみ) (2)両側ブレーキによる無負荷下降時のかご制止距離が下表の距離以下であることを確認する。 ※適用するものを ↓□にレ印を記す ↓ <table border="1"> <thead> <tr> <th>ブレーキ型式</th> <th>下降時定格速度(m/min)</th> <th>制止距離(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">□ RNB2G-38</td> <td>20</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">□ SBM-140-010</td> <td>20</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>□ SBM-130-011</td> <td>20</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table>	ブレーキ型式	下降時定格速度(m/min)	制止距離(mm)	□ RNB2G-38	20	30	30	55	□ SBM-140-010	20	40	30	70	□ SBM-130-011	20	30	良・否 (制止距離: mm) 良・否
	ブレーキ型式	下降時定格速度(m/min)	制止距離(mm)															
	□ RNB2G-38	20	30															
30		55																
□ SBM-140-010	20	40																
	30	70																
□ SBM-130-011	20	30																
(3)前年検査時からの制止距離増加分と今回制止距離との合計値が(2)の制止距離以下であることを確認する。(前回測定値: mm) 注) 基準値内でない場合、次の点検時までには許容値を超えるおそれがあるため、点検期間を短くするなどして、(2)の状態であることの確認が必要です。	(合計値: mm)																	
【小規模共同住宅用エレの場合】 (1)両側ブレーキによる無負荷上昇時のかご制止距離が下表の距離以下であることを確認する。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>ブレーキ型式</th> <th>定格速度(m/min)</th> <th>制止距離(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SBM-130-011</td> <td>30</td> <td>45</td> </tr> </tbody> </table>	ブレーキ型式	定格速度(m/min)	制止距離(mm)	SBM-130-011	30	45	(制止距離: mm) 良・否											
ブレーキ型式	定格速度(m/min)	制止距離(mm)																
SBM-130-011	30	45																
(2)前年検査時からの制止距離増加分と今回制止距離との合計値が(1)の制止距離以下であることを確認する。(前回測定値: mm) 注) 基準値内でない場合、次の点検時までには許容値を超えるおそれがあるため、(1)の状態であることの確認が必要です。	(合計値: mm)																	
5. ブレーキパッドの動作感知装置	(1)固定部緩みや錆、ゴミがないことを確認する。 (2)ブレーキ開閉動作に応じてスイッチが正常に作動することを確認する。	良・否 良・否																
6. 安全制御プログラムの確認	(1)基板の型式が「P1C-M1□■」であることを確認する。 ※末尾の「□■」は、□は0~9のいずれかの数字、■はアルファベットを表す。 (2)走行中乗場戸錠外し鍵を用いた時に急制動することを確認する。 (3)戸開走行状態を模擬させた時の各信号が正常であることを確認する。	(型式: ) 良・否 良・否 良・否																

特記事項

注)当社が発行している保守・点検資料に示す、戸開走行保護装置に関する検査内容のみを抜粋したものです。  
 検査内容の詳細は、保守・点検資料を確認の上、検査実施願います。